

障害の捉え方について

この絵をみて、障害はどこにあるか考えてみよう。



障害は車いすを利用している人？音声情報が聞こえない人？



信号が見えない人？手が届かない人？日本語がわからない人？

果たしてそうでしょうか？

例えば、こんなことに気づきませんか？

二足で歩く人しか想定していない建物、音声情報や視覚情報、
単一言語でしか伝えていない設備

障害は人にあるのではなく、環境や社会にあるという考え方。

これが「障害の社会モデル」

人に障害があるという考え方は、「障害の個人モデル」



例えばこうしてみたら解決するね。

